

カンボジア国道路・橋梁の維持管理能力強化プロジェクト  
プロジェクトニュース (2015年6月)

## 道路性状簡易評価システム (DRIMS)

本プロジェクトは、カンボジア国における道路および橋梁の維持管理能力を向上させることを目的として、2015年5月に開始された。本プロジェクトの主な特徴の1つとして、国際ラフネス指数 (IRI) を導入した道路維持管理システムの構築が挙げられる。IRI は道路の路面状況を定量的に評価するための指標である (図1参照)。IRIの適用により、より効率的な道路維持管理および維持管理予算計画が可能となる。

本プロジェクトでは、最新の IRI 測定機器である道路性状簡易評価システム (DRIMS) のカンボジア国への技術移転を試みている。DRIMS を適用することにより、簡単に IRI を計測することが可能である。DRIMS はノート PC、GPS、加速度計、ドライブレコーダーで構成させる (図2参照)。DRIMS はコンパクトかつ利用者にとって使い易い機材であり、DRIMS の導入によりカンボジア国における道路維持管理能力が強化されることが期待される。

路面				
IRI	損傷程度 ↑ >7.0	5.0 to 7.0 IRI=7.0	3.0 to 5.0 IRI=5.0	<3.0 IRI=3.0
評価	非常に悪い	悪い	良い	かなり良い
対策	緊急補修	補修	小規模補修	

図1: IRIによる道路路面状況の分類

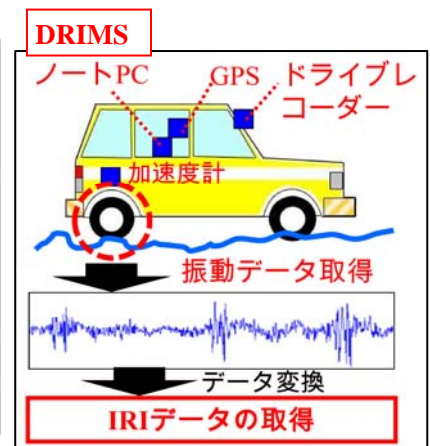


図2: IRI計測のメカニズム

技術移転の一環として、DRIMS 操作トレーニングが実施された (図3および図4参照)。MPWT 職員が先立って JICA エキスパートのサポートを受けて DRIMS の操作を習得し、彼らが地方公共事業運輸局 (DPWT) 職員の指導者となることが期待される。人材育成は、技術移転の継続性を高めるための重要な要素の1つである。



図3: DRIMS 設置状況

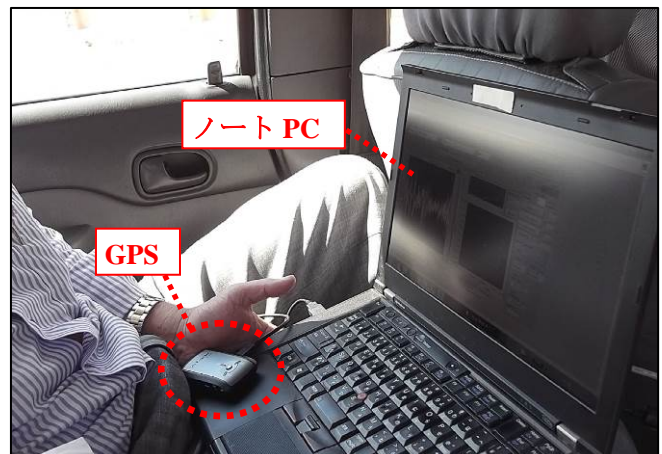


図4: 車内における DRIMS 操作状況